

# 2022年3月期及び2022年3月期第2四半期 業績予想修正に関する補足説明資料

証券コード：6745

2021年7月30日



# 業績予想修正概要

7月30日に公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」に関して、その背景と概要を補足ご説明いたします。

## 2022年3月期第2四半期連結業績予想の修正（2021年4月1日～2021年9月30日）

単位：百万円	前回発表予想 (2021年4月28日)	今回修正予想 (2021年7月30日)	差異
	A	B	C=B-A
売上高	41,000	37,400	△ 3,600
営業利益	1,400	1,000	△ 400
経常利益	1,400	1,000	△ 400
親会社株主に帰属する 当期純利益	900	700	△ 200

## 2022年3月期通期連結業績予想の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

単位：百万円	前回発表予想 (2021年4月28日)	今回修正予想 (2021年7月30日)	差異
	A	B	C=B-A
売上高	79,000	76,500	△ 2,500
営業利益	4,000	4,000	0
経常利益	4,000	4,000	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,800	2,800	0

修正理由は、以下の2点です。

- ①収益認識に関する会計基準の認識誤り
- ②業績見通し時の工事進行基準物件の受注時期と進捗の見誤り

## 収益認識に関する会計基準

84.

2020年改正会計基準の適用初年度においては、会計基準等の改正に伴う会計方針の変更として取り扱い、原則として、新たな会計方針を過去の期間のすべてに遡及適用する（原則的な取扱い）。ただし、適用初年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の適用初年度の累積的影響額を、適用初年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用することができる。

### <前回業績予想時点>

2021年3月期末の未成工事支出金に対して原価回収基準処理（※）とすることで利益剰余金に加減算する累積的影響額は0となるため、実質的に遡及処理は不要と認識しておりました。

### <判明した誤り>

上記の処理上で、未成工事支出金に相当する売上原価と売上高も遡及処理しなければならないことが認識できておりませんでした。

適正に遡及処理した結果、4月28日に公表した第2四半期（累計）及び通期の業績予想の売上高及び売上原価からそれぞれ2,522百万円下回ることとなります。

この認識誤りは、収益認識基準導入初年度における一過性のものであり、以降継続するものではありません。

※原価回収基準処理：履行義務を充足する際に発生する費用のうち、回収することが見込まれる費用の金額で収益を認識する方法。「収益」＝「発生原価」となる。

# ① 収益認識に関する会計基準の認識誤り 詳細

(誤) 前回業績予想時点の認識(連結)

2020年度 (単位:百万円)

	負債	28,612	
未成工事支出金	2,522	純資産	39,014
資産計	67,626	負債・純資産	67,626

(正) 今回業績予想(連結)

2020年度 (単位:百万円)

	負債	28,612	
未成工事支出金	2,522	純資産	39,014
資産計	67,626	負債・純資産	67,626

遡及適用

売上高	2,522
売上原価	2,522
売上総利益	-

進行基準売上

売掛金	+ 2,522	負債	-
未成工事支出金	△ 2,522	純資産	-
資産計	-	負債・純資産	-

2021年度 (単位:百万円)

期首

	負債	28,612	
未成工事支出金	2,522	純資産	39,014
資産計	67,626	負債・純資産	67,626

当期

売上高	2,522
売上原価	2,522
売上総利益	-

進行基準売上

2021年度 (単位:百万円)

期首

売掛金	2,522	負債	28,612
未成工事支出金	-	純資産	39,014
資産計	67,626	負債・純資産	67,626

当期

売上高	-
売上原価	-
売上総利益	-

差異(「今回予想」-「前回予想」)

2021年度 (単位:百万円)

期首

売掛金	+ 2,522	負債	-
未成工事支出金	△ 2,522	純資産	-
資産計	-	負債・純資産	-

当期

売上高	△ 2,522
売上原価	△ 2,522
売上総利益	-

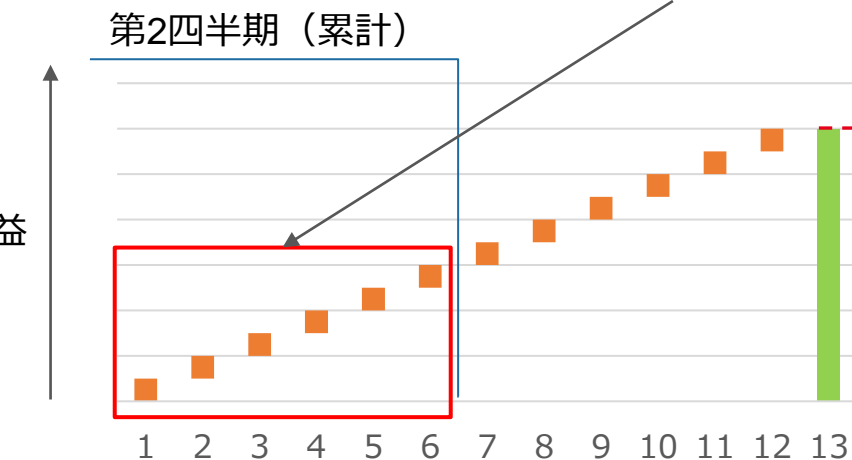
## ②業績見通し時の工事進行基準物件の受注時期と進捗の見誤り

「当連結会計年度に受注し、かつ完成見込の案件」について、受注時期と第2四半期(累計)の工事進捗の予測を見誤っていたため、4月28日に公表した「第2四半期（累計）」の業績予想と現時点の予想に差異が発生する見込みです。

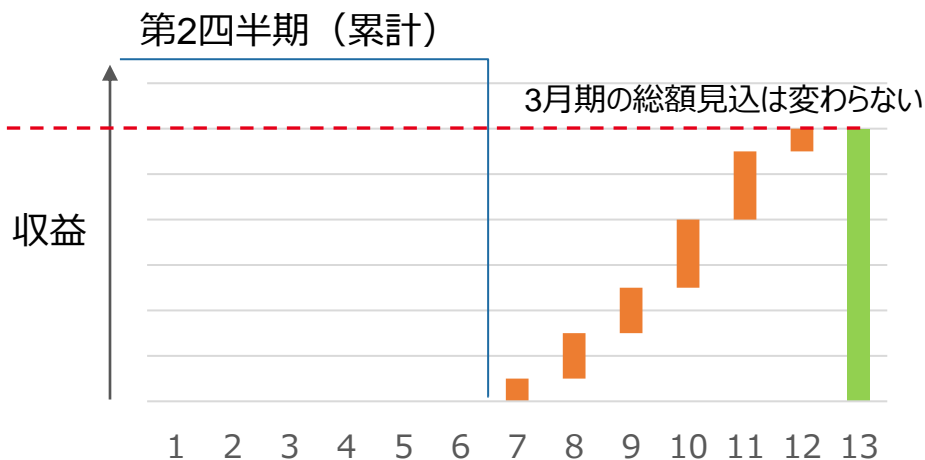
あくまでも、「当連結会計年度に受注し、かつ完成見込の案件」の第2四半期における進捗見込の差異であり、総額見込には変更がありませんので、通期業績の利益予想への影響はありません。

またこの見誤りは、収益認識基準導入初年度における一過性のものであり、以降継続するものではありません。

前回業績予想時点の  
通期見通し算定イメージ



今回業績予想における  
通期見通し算定イメージ



参考イメージは事例として案件1件の進捗を図示しております。

本資料には将来予測に関する記述が含まれております。

将来予測に関する記述にはその他の情報とあわせて、当社グループの将来の成長計画が含まれています。この将来予測は当社が現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、将来の出来事に関する現在の当社の見通し、期待、計画が記述されているに過ぎません。我々はこの将来予測について、新たな結果に関する情報や将来の出来事によっても、最新情報への更新や修正の義務を負うものではありません。

また、本資料中で論じられる予測の対象となる将来の出来事は、現実には起こらないか或いは予期されたことと大きく異なる可能性があり、これらの違いには多くの要素が原因となりえます。

本資料において使用されている商標は、関係各社の保有する登録商標又は出願商標です。

## お問い合わせ先

ホーチキ株式会社 経営企画室  
石井

TEL 03 (3444) 4115

E-mail [team\\_ir@hochiki.co.jp](mailto:team_ir@hochiki.co.jp)